

## インターンシップ制度のご案内



産業デザイン科



制御技術科



電子技術科



生産技術科



情報技術科

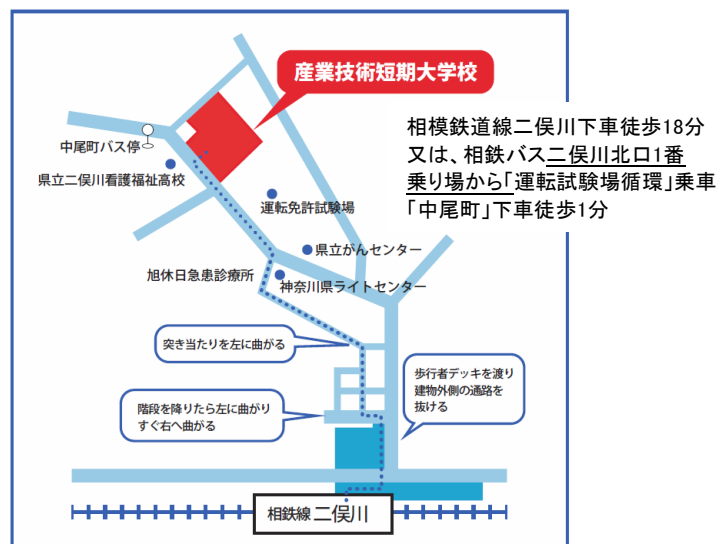
### 実施の流れ

#### 神奈川県立産業技術短期大学校 企業実習（インターンシップ）の流れ

	企業等	本校	学生
STEP ① 事前準備	<b>インターンシップ受入依頼</b> インターンシップの受入の協力について当校から依頼文を送付。受入が可能な機関から <b>実施概要</b> を返送。		
	<b>実施内容の確認</b> 回答された <b>実施概要</b> について、必要であれば当校から内容についての確認。		
	<b>学生への広報／募集</b> 学生に受入機関と <b>実施概要</b> を公開して、参加学生を募集。  <b>参加申込</b> 希望する受入機関への <b>受入申込書</b> を提出		
STEP ② 実習前	<b>実施計画に関する協議</b> 当校から <b>実施依頼書</b> の他、実施に必要な書類を受入機関に送付、事前に準備すべきものなどの連絡調整		
	<b>事前指導</b> インターンシップ参加前に受入機関の調査、受入先での行動等について指導		
STEP ③ 実習中	<b>実施状況の確認</b> 本校職員が実習状況を電話又は訪問等により確認		
	<b>実習関連書類 出動簿</b> の確認	<b>実習関連書類 出動簿</b> への押印 <b>実習日誌</b> の作成	
STEP ④ 実習後	<b>実施結果報告</b> 受入機関から当校へ <b>実施結果報告書</b> 、 <b>出動簿</b> を提出		
	<b>実習関連書類 実習日誌、実習報告書</b> の提出		

青字は文書・様式

### 案内図



### お問い合わせ

## 神奈川県立産業技術短期大学校

〒241-0815 神奈川県横浜市旭区中尾 2-4-1

電話番号 **045-365-7724** インターンシップ担当

ホームページアドレス <http://www.kanagawa-cit.ac.jp>

ファクシミリ 045-392-1971

# インターンシップは出会いの場です。

将来の方向を見据えた上での就業体験により目標や進路を確実なものにします。  
インターンシップを通じての人材育成にご協力をお願いいたします。

## 目的・ねらい

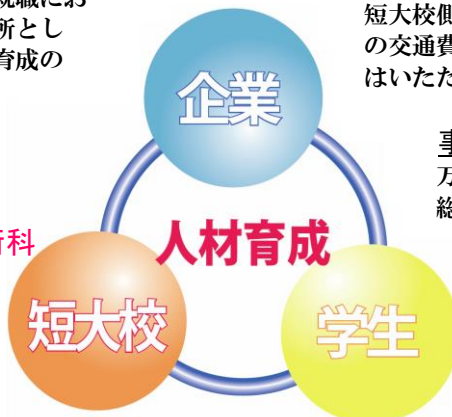
当校では学生の職業意識の養成、技能習得意欲の増進、就職活動の一助を目的にカリキュラムの一環（必修単位）としてインターンシップを導入しています。

インターンシップに参加することは学生にとって、職業の選択、将来の生き方を考える上で非常に有意義なものとなります。また、企業の皆様にも就職におけるミスマッチの解消の場や企業PRの場所としてのみならず、世代交流、活力投入、人材育成の機会として活用いただいています。

## 受入れ科について

生産技術科 制御技術科 電子技術科  
産業デザイン科 情報技術科

当校には5つの科があります。実習内容に応じて科を指定することができます。



## インターンシップ概要

内 容 実習や実務体験  
実施時期 8月夏季休暇中と 1月下旬  
実施日数 2日～4日間

### 経費・費用

短大校側から委託経費の支払いはございません。通勤の交通費は学生が負担します。賃金やアルバイト料はいただきません。

### 事故防止

万一の災害に備えるため、学生は職業訓練生総合保険に加入しています。

### 委託契約

詳細は、実施要領に基づき打合せ、ご相談をさせていただきます。

### 責任という重み

【企業データ】所在地：横浜市、業種：内装工事業、社員数：28名

【実施日数・人数】2日間×3名

#### 【実習内容】

店舗内装工事補助、什器、備品類搬入据付、店舗ファザードデザイン、図面作成等

#### 【企業担当者の感想】

工事現場で職人さんの中に入って一緒に作業していくうちに、次第に打ち解けて周囲の雰囲気も明るくなりました。学生さんの職人の作業を見る真剣な眼差しは、現場にも良い緊張感が生まれてこちらにとってもよい経験になりました。また、内装の仕上げで形に残る作業に携わってもらい、良い経験になったのではと思います。

#### 【学生からの声】

実際の仕事を体験してみて、授業でやっている内容と同じことでも、責任という重みが全く違うことを実感しました。また、判らない点はきちんと確認できるようにする等自分自身のコミュニケーション能力を高める必要があると強く感じました。

### 会社の雰囲気やそれぞれの人の役割

【企業データ】所在地：横須賀市、業種：金属加工業、社員数：130名

【実施日数・人数】2日間×2名

#### 【実習内容】

会社紹介、工場・作業見学、品質管理作業、先輩社員の作業補助、懇談等

#### 【企業担当者の感想】

当社では、材料、製品共にトン単位となっているため、実際の作業体験よりも、加工中の機械を近くで見学したり、加工工程の説明が中心でしたが、今年度入社した卒業生の社員の作業する姿を見たときは感じるものがあったと思います。また、会社の雰囲気やそれぞれの人の役割等感じ取ってくれたと思います。

#### 【学生からの声】

授業で行う実習内容とはかなり違い工作機械も大きなものばかりで、作業はどれも難しそうで手伝える内容ではありませんでした。でも、忙しい中自分達のために時間を割いて説明をしてくださった社員の方々にとっても感謝しています。最終日に自分にもできそうな作業をやらせてもらいましたが、自分の体力不足を実感しました。また、参加したいと思います。

### 日本の未来を感じました

【企業データ】所在地：川崎市、業種：情報処理サービス業、社員数：125名

【実施日数・人数】7日間×3名

#### 【実習内容】

ビジネスマナー、自社製品マニュアル添削、プロジェクト演習、プレゼンテーション等

#### 【企業担当者の感想】

挨拶など元気にハキハキしていたので、私達にもとても刺激になりました。学生と社会人との区別がついてない部分がありましたが、学生の若さと元気に日本の未来を感じました。これからも頑張ってください。

#### 【学生からの声】

今回の経験で一番感じたことは自分の実力が足りないことです。プログラムを作成する時のコメントの重要性がよくわかりました。普段は自分で理解できるので省略していましたが、作業の効率が全然違いました。また、プレゼンテーションでは、時間に対する認識が甘く自分の準備不足を痛感しました。次の機会では同じことを繰り返さないようにしていきたいと思います。

### コミュニケーションの大切さを学ぶ

【企業データ】所在地：平塚市、業種：機械加工業、社員数：73名

【実施日数・人数】2日間×4名

#### 【実習内容】

会社概要説明、工場見学、CAD 設計実習、切削加工実習等

#### 【企業担当者の感想】

物静かな印象の学生さんでしたが、自分の考えをしっかりとっており感心しました。年齢の離れた作業員と上手に意思疎通が取れており、コミュニケーションの大切さを学ぶことができたのではないかと思います。また、設計者と製造者との間にギャップがあるものづくりは成立しない事に気付いてくれたと思います。

#### 【学生からの声】

一人では出来ない仕事が多いため、上下関係よりも技術者同士の話し合いが重要だと思いました。また、様々な機械を使って高精度な加工や高い技術力を持った社員の方々を見て、自分も将来はこんな技術者になりたいという目標を見つけることができました。